

マエサワ 排水用スリム吸気弁取扱説明書

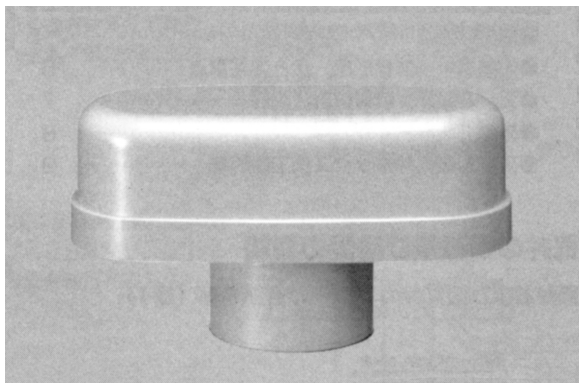
建築基準法 旧第38条認定品
建設省東住指発第257号

品番：HBVUK40S,HBVU40セット

AD-05

この度は、排水用スリム吸気弁（以降、スリム吸気弁と言う）
をご採用いただきありがとうございます。

この取扱説明書は、スリム吸気弁を正しく取り付け、使用していただくためのものです。
施工の前に必ずお読みください。また、いつでも見られる場所に保管してください。



※この取扱説明書では、事故防止に関する情報を



注意

で示しています。



注意

この表示を無視して取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うか
又は物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

●施工は、必ず給排水設備専門店で行ってください。

前澤化成工業株式会社

スリム吸気弁の構造及び機能の説明

*本文中に記載された安全情報の内、特に重要なものを記載しました。



- スリム吸気弁のカバーを分解しないでください。

製品を一度分解しますと性能(気密性や作動性)が確保できず臭気漏れのおそれがあります。

- スリム吸気弁は、必ず垂直に取り付けてください。

斜めや横向きに設置すると弁は正常に作動せず、臭気漏れのおそれがあります。

目次

●スリム吸気弁の構造及び機能の説明	1～2
●施工前の確認	2～3
●取付方法	4～5
●設置場所(配管形態)ごとの注意点	6
●スリム吸気弁設置例	7
●外形寸法	8
●スリム吸気弁ボックス施工説明書	9
●システムの設置例	10

スリム吸気弁の構造及び機能の説明

■スリム吸気弁および吸気弁カプラーの各部名称(図1)

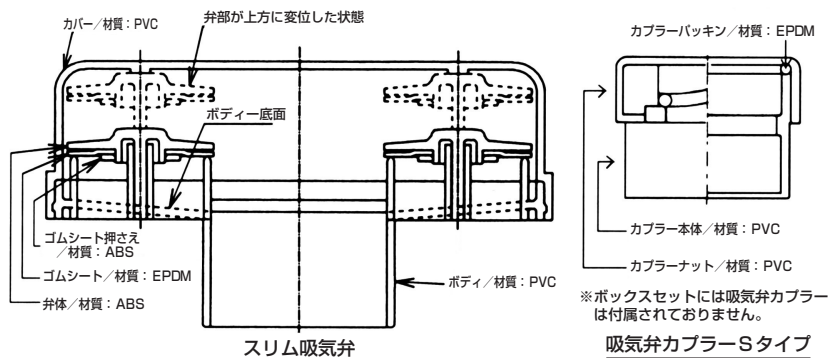
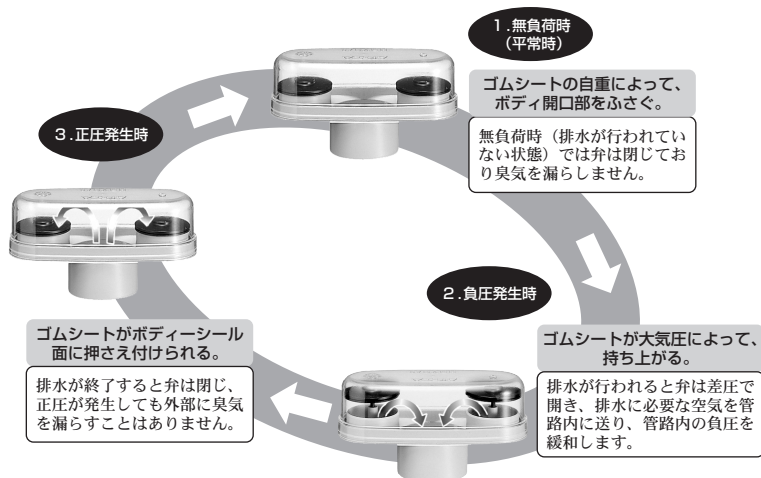


図1 構造

施工前の確認

■作動原理



施工前の確認

■スリム吸気弁と排水横枝管または器具排水管のサイズ

スリム吸気弁の設置対象となる排水横枝管または器具排水管は**75mm**以下とします。また、スリム吸気弁の呼び径は40mmですので**通気管も40mm**として下さい。

呼 び 径	φ40
型 式	HBVU40

施工前の確認

■取付前の確認

ポリ袋から製品を取り出し、必ず次の1)～2)の内容を確認してください。確認作業で異常が認められた場合は、購入先へ連絡し、商品を交換してください。

1) 図3を参考に、弁体の作動性を確認してください。

〈確認方法〉

製品を逆にした状態で側面部を軽くたたき、弁体の下に落ちる（ゴムシートが開く）かどうか確認してください。また、弁体の重量は軽いため軽くたたいても落ちないものもあります。その場合は、細い棒（鉛筆の先等）でゴムシートを軽く押して落ちれば問題ありません。

次に、製品を垂直に立てた状態で、弁体の下に落ちる（ゴムシートが閉じる）かどうか確認してください。

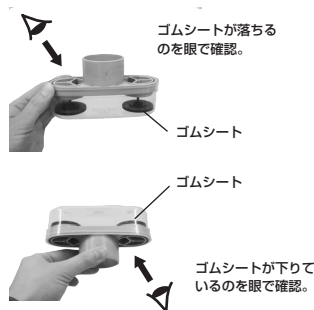


図3

2) 図4を参考にカブラー内にパッキンが装着されているか、確認してください。



図4



注意

●スリム吸気弁を分解しないでください。

製品を分解すると気密性や作動性が確保できず、臭気漏れのおそれがあります。

●本製品には、防寒カバーは装着されませんので、氷点下になる所への設置は行わないでください。

氷点下で設置した場合、製品内の結露水が凍結し気密性や作動が低下し臭気漏れのおそれがあります。

取付方法

■スリム吸気弁の設置可能な排水立て管の規模

スリム吸気弁が適用される排水立て管の規模は、3階建て以下の伸頂通気方式の排水システムです。また、許容排水量は、SHASE-S206に規定される伸頂通気方式の許容流量が適用されます。

■取り付け場所について

スリム吸気弁は、空気の流入がスムーズな場所に設置してください。やむを得ず密閉度が高く容積の小さいパイプシャフトなどに設置する場合は、通気口を施してください。（通気口の開口面積は、通気管断面積の2倍以上を確保してください。）

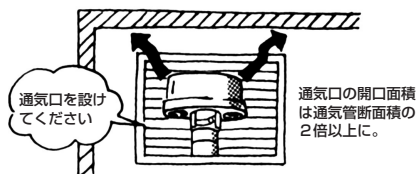


図5



注意

通気口の開口面積は、通気管断面積の2倍以上を確保してください。開口面積が2倍以上ないと、排水管路内に十分な空気量を供給できなくなりトラップの封水が破れるおそれがあります。（図5）

- スリム吸気弁は通常メンテナンスフリーですが、万一故障が発生した場合に備えて修理・交換が容易にできる場所に設置してください。パイプシャフトや天井裏などのいんべい部に設置する場合は、点検口（450×450mm以上）を設けてください。（図6）



図6



図7



注意

- スリム吸気弁は、必ず垂直に取り付けてください。斜めや横向きに設置すると弁は正常に作動せず、臭気漏れのおそれがあります（図7）
- 浮揚性のある断熱材が近接する場合は、開口部と150mm以上の距離を確保してください。石膏ボードカスは使用開始前に、必ず清掃してください。
- 吸気弁を設置する前に、満水試験を行って下さい。設置して満水試験を行うと吸気弁に過大な圧力が働き、吸気弁の性能が低下する場合があります。

取付方法

■取付方法

- 取り付けは、スリム吸気弁とカプラーをセットした状態（図8）または分割した状態でも構いません（図9）
- 後からスリム吸気弁を接続する場合、接着後3分以上時間をあけ、カプラーが固定されてからスリム吸気弁を接続してください。
- 何れの場合も接着剤を塗布する箇所はカプラーのみです。スリム吸気弁には塗布しないでください。

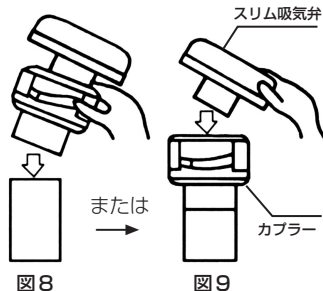


図8

図9



注意

接着剤を塗布するときは、製品を垂直に立て、カプラー・ナット部に接着剤が付着しないよう、十分注意しながら塗布してください。（図10）逆さの状態で接着剤を塗布するとナットが回らなくなったり、スリム吸気弁ゴムシートに接着剤が付着し作動しなくなるおそれがあります。

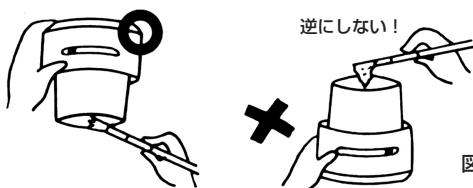


図10 接着剤の塗布方法



注意

施工前の保管や施工時において、弁のゴムシート面にごみやほこりが付かないよう注意してください。ごみが付着すると、臭気漏れの原因になるおそれがあります。（図11）



図11

- 施工完了後、ゴムシートが確実に製品開口部をふさいで閉じているかを確認してください。また、カプラーナットが締まっているか確認してください。（図12）



図12

設置場所(配管形態)ごとの注意点

■通気管の取り出し位置・配管方法

- 排水横枝管から通気管を取り出す場合は、排水管断面垂直中心線上部から45°以内の角度で取り出してください。(図13)
- 通気管は、最上流部の器具排水管を接続した直後の下流側から取り出してください。(図14)…P7[A]
- スリム吸気弁は、その階における最高位の排水器具。あふれ縁から150mm以上上方に設置して下さい(図14)…P7[A]

■低位通気管に取り付ける場合

その階の最高位の排水器具のあふれ縁より下方で、やむを得ず横走りさせる通気管に設置する場合も、その階における最高位の排水器具のあふれ縁から150mm以上上方で、かつ、床面から1m以上の場所に設置してください。(図14)…P7[B]

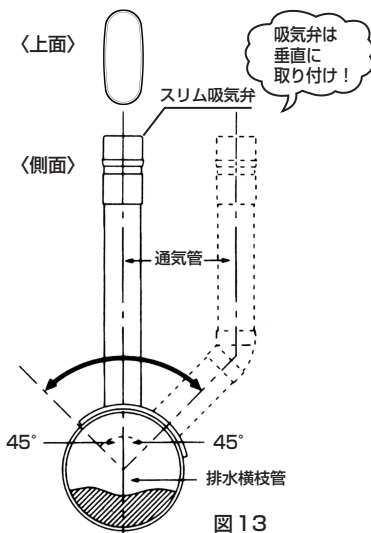


図13



注意

- スリム吸気弁は不燃材ではないので、防火区画貫通部より1m以内には設置しないでください。
- スリム吸気弁を取り付ける通気管（特に横走りさせる場合など）は、逆勾配にならないよう注意して下さい。
逆勾配ですと通気管内に水分がたまり、通気機能の障害を起こしたり、管材を腐食させる原因になります。
- 正圧緩和を目的とした通気管(逃がし通気管)への設置はしないでください。スリム吸気弁は、吐き出し機能はありませんので排水管内の正圧緩和はできません。

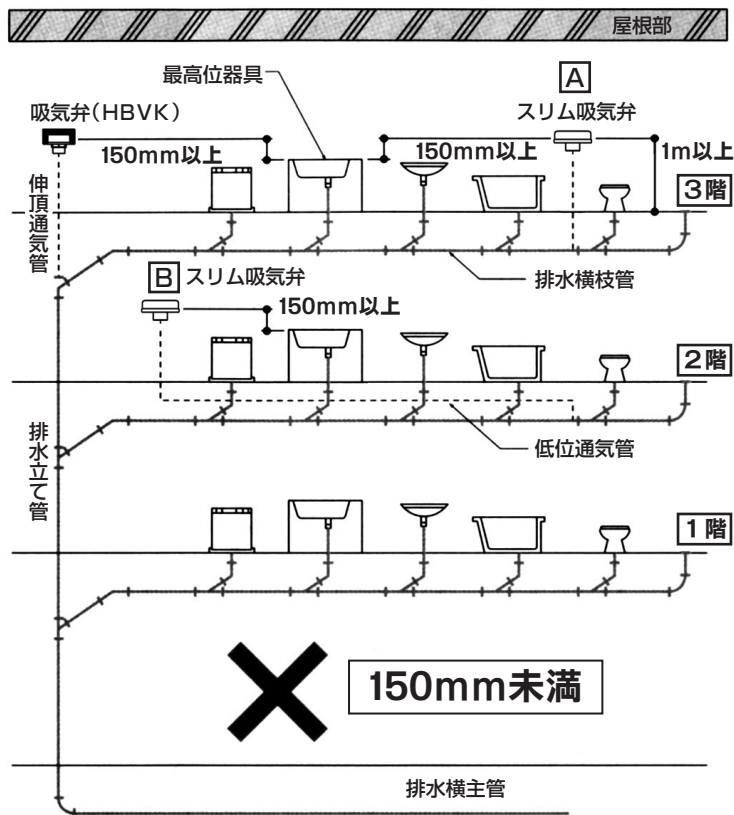


注意

- 排水横主管または敷地排水管が満流とならないようご注意ください。
- 排水横主管の末端は、排水マスに水没させないでください。
- 排水立て管にはオフセット部を設けないでください。
- 排水横主管の水平曲りは排水立て管底部より3m以内に設けないでください。

設置場所(配管形態)ごとの注意点

■スリム吸気弁設置例



※本図は吸気弁の設置位置を説明するためのものです。

排水システム全体の形態は必ずしも適切な設計を示すものではありません。

図 14

スリム吸気弁の外形寸法

■外形寸法

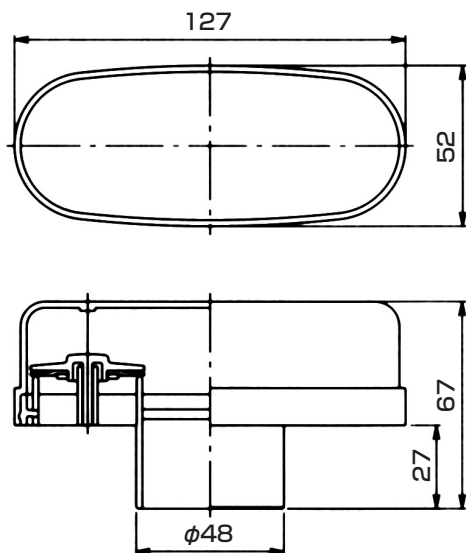


図 15

■カプラー図と寸法表

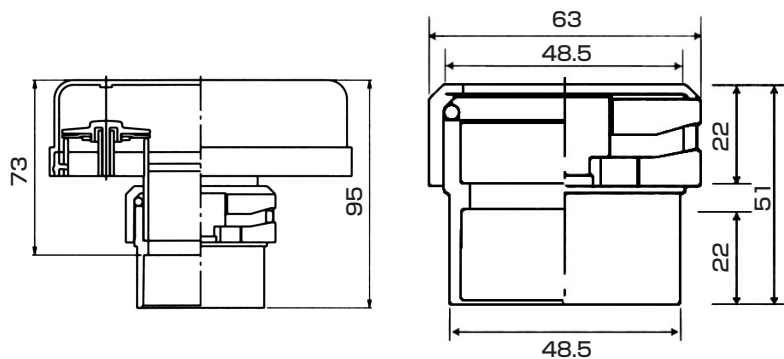


図 16

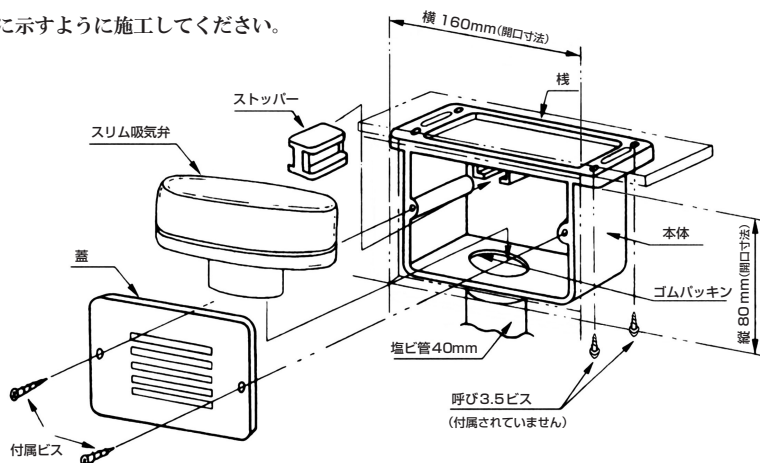
スリム吸気弁ボックス施工説明書

品番：HBVU40セット

この度は、スリム吸気弁をご採用いただきありがとうございます。

この施工説明書は、スリム吸気弁の専用ボックスを正しく施工いただくための内容が記載されております。施工される前に、必ずお読みください。また、いつでも見られる場所に保管してください。

図に示すように施工してください。



◆施工手順◆

①本体は、塩ビ管40mmに接着します。

注意

接着剤がゴムパッキンに付着すると、性能（気密性・作動性）が低下するおそれがあります。

②棧に固定させる場合：呼び3.5のビスを使用して下さい。

③壁面の開口寸法（縦×横）は80mm×160mmです。

④スリム吸気弁をセットする前にボックス内の石膏ボードカスやホコリを取り除いてください。

注意

スリム吸気弁のゴムシートにごみ等が付着すると、性能（気密性・作動性）が低下し、臭気漏れのおそれがあります。

⑤スリム吸気弁を本体内部の丸穴へ垂直に挿入します。

注意

スリム吸気弁が斜めに挿入されると取り付けにくくなります。挿入時、接着剤は使用しないでください。本体内部の丸穴にはゴムパッキンがセットされています。

⑥ストッパーをセットします。

注意

接着剤は使用しないでください。スリム吸気弁の取り外しができなくなります。

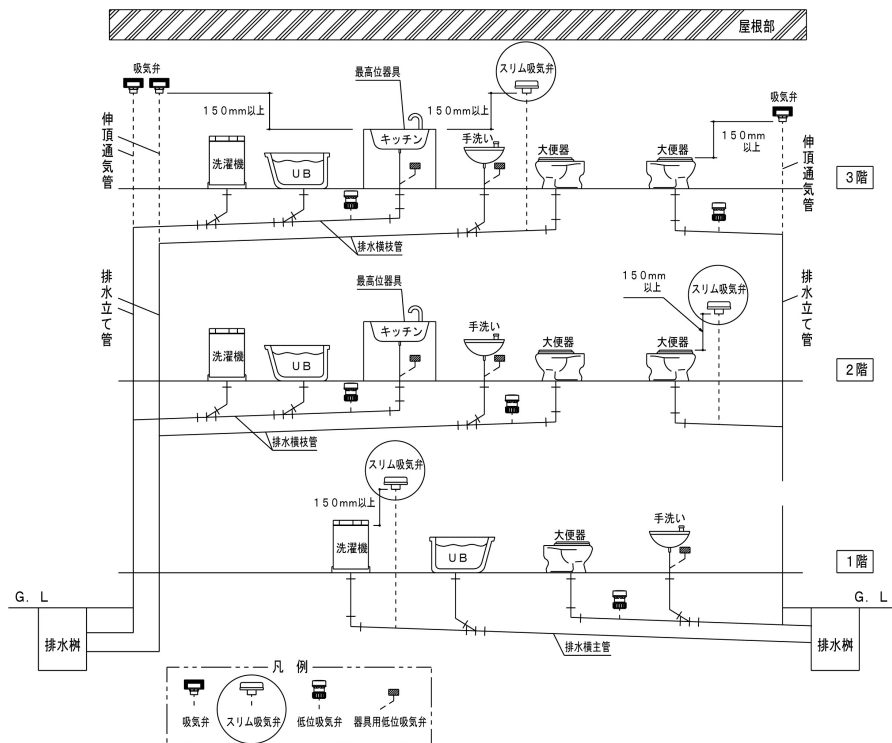
⑦蓋を付属のビスで固定します。

注意

ビスを締め過ぎないようにしてください。締め込み過ぎると蓋が変形します。

インパクトドライバーのご使用は避けてください。

システムの設置例



お問い合わせ・ご相談はお買い上げの販売店または
最寄りの下記営業所へおたずねください。

下記に各支店のご案内をします。

当社ホームページ <http://www.maezawa-k.co.jp/>

より最新の営業所一覧がご覧いただけます。

前澤化成工業株式会社

本社 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-7-1 NOF日本橋本町ビル ☎ 03-5962-0711(代) FAX.03-5695-0161

■北日本支店	〒980-0811	仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル	☎ 022-748-4288代	FAX.022-748-4366
■北関東支店	〒330-0841	さいたま市大宮区東町2-20 三井住友海上大宮東町ビル	☎ 048-647-8833代	FAX.048-647-9825
■東京支店	〒136-0071	東京都江東区亀戸2-22-17 日本生命亀戸ビル	☎03-6807-0668代	FAX.03-6807-0737
■中部支店	〒460-0003	名古屋市中区錦2-9-29 ORE名古屋伏見ビル	☎052-218-6921代	FAX.052-218-6920
■関西支店	〒541-0052	大阪市中央区安土町3-3-9 田村駒ビル	☎ 06-6268-0071代	FAX.06-6268-0072
■中国支店	〒730-0805	広島市中区十日市町1-1-9 鷹匠ビル	☎ 082-294-6425代	FAX.082-294-6428
■九州支店	〒810-0074	福岡市中央区大手門2-3-11 HTCリベルテ大手門ビル	☎ 092-771-7151代	FAX.092-761-0194



古紙パルプ配合率70%再生紙を使用